

## 明 細 書

### 携帯端末

### 技術分野

[0001] 本発明は、コンテンツの実行が可能な携帯端末に関する。

### 背景技術

[0002] 近年、携帯電話の多機能化が進み、壁紙や着信メロディのほか、キャラクタ設定、待受けJava(米国サン・マイクロシステムズ社の登録商標)アプリ、メニューアイコン等の各種コンテンツの設定を可能にしているものが開発されている。これらのコンテンツは、インターネットや携帯電話網を介してダウンロードできるようになっている。

[0003] 現在、携帯電話で新たにコンテンツを取得した場合、コンテンツごとに手動で設定するようにしているが、操作が面倒で時間もかかることから、全てのコンテンツを一括して変更できるようにしたものが提案されている(例えば、特許文献1参照)。全てのコンテンツを一括して変更することでユーザを複雑な操作から開放でき、コンテンツを更に普及させることが可能となった。特許文献1で開示された携帯端末では、コンテンツが複数種類格納された設定ファイルを取得し、この設定ファイルに格納されているコンテンツに基づいて現在のコンテンツを一括して変更するようにしている。

[0004] 特許文献1:特開2002-118638号公報(第3頁、第4頁、第4図)

### 発明の開示

### 発明が解決しようとする課題

[0005] しかしながら、特許文献1で開示された従来の携帯端末においては、所望の設定ファイルを実行可能な状態に設定するためには、ユーザが携帯端末を操作する必要がある。このように、特許文献1で開示された従来の携帯端末では、壁紙、キャラクタ設定、待受けJavaアプリ、メニューアイコン、着信メロディ等のコンテンツを変更する場合にはそれなりの操作が必要であり、小型の携帯端末の場合には特に、操作しづらいことがある。

[0006] 本発明は、上記事情に鑑みてなされたものであり、容易にコンテンツを実行可能に設定できる携帯端末を提供することを目的とする。

### 課題を解決するための手段

- [0007] 本発明の携帯端末は、記録媒体の着脱が可能であり、コンテンツを実行可能な携帯端末であって、装着された記録媒体に記録されているディレクトリ情報を取得するディレクトリ情報取得手段と、前記取得したディレクトリ情報に、予め定めた特定のディレクトリ名が含まれているか否かを判定するディレクトリ判定手段と、前記取得したディレクトリ情報に前記特定のディレクトリ名が含まれている場合に、前記記録媒体に記録されている前記特定のディレクトリ名のディレクトリに含まれるコンテンツを実行可能な状態に設定するコンテンツ設定手段と、を備える。
- [0008] 上記構成によれば、取得したディレクトリ情報に、予め定めた特定のディレクトリ名が含まれているか否かを判定するディレクトリ判定手段を備えることにより、コンテンツを記録した特定のディレクトリ名のディレクトリが存在する場合には、容易に、コンテンツを実行可能な状態に設定することができる。
- [0009] また、本発明の携帯端末は、前記記録媒体が装着されたことを検出する検出手段を備え、前記ディレクトリ判定手段が、前記検出手段が装着したことを検出したとき、前記取得したディレクトリ情報に前記特定のディレクトリ名が含まれているか否かを判定するものである。
- [0010] 上記構成によれば、記録媒体が装着されたことを検出することにより、装着が検出される度にディレクトリ名を判定して、その度に、容易にコンテンツを変更することができる。
- [0011] また、本発明の携帯端末は、前記コンテンツ設定手段が、前記記録媒体の前記特定のディレクトリ名のディレクトリに同一種類のコンテンツが複数含まれる場合、前記複数のコンテンツを所定の順序で1つずつ実行可能な状態に設定するものである。また、本発明の携帯端末は、コンテンツを選択する選択手段を備え、前記コンテンツ設定手段が、前記記録媒体の前記特定のディレクトリ名のディレクトリに同一種類のコンテンツが複数含まれる場合、前記選択したコンテンツを実行可能な状態に設定するものである。
- [0012] 上記構成によれば、特定のディレクトリ名のディレクトリに同一種類のコンテンツが複数存在する場合であっても、所望のコンテンツを容易に実行可能な状態に設定する

ことができる。

- [0013] また、本発明の携帯端末は、前記コンテンツ設定手段が、前記記録媒体の前記特定のディレクトリ名のディレクトリに、予めコンテンツの変更時間を定めた変更時間設定ファイルが存在する場合、前記変更時間設定ファイルに定められた変更時間に、このディレクトリに含まれるコンテンツを実行可能な状態に設定するものである。さらに、本発明の携帯端末は、着信回数を計数する着信回数計数手段を備え、前記コンテンツ設定手段は、前記記録媒体の前記特定のディレクトリ名のディレクトリに、所定回数着信したときコンテンツを変更することを予め定めた変更時間設定ファイルが存在する場合、前記所定回数着信したときに、このディレクトリに含まれるコンテンツを実行可能な状態に設定するものである。

- [0014] 上記構成によれば、一旦記録媒体を装着すれば、予め定めたタイミングでコンテンツを変更することができる。

### 発明の効果

- [0015] 本発明によれば、取得したディレクトリ情報に、予め定めた特定のディレクトリ名が含まれているか否かを判定するディレクトリ判定手段を備えることにより、コンテンツを記録した特定のディレクトリ名のディレクトリが存在する場合には、容易に、コンテンツを実行可能な状態に設定することができる。

### 図面の簡単な説明

- [0016] [図1]本発明の一実施の形態を説明するための携帯端末の機能を示すブロック図である。
- [図2]各コンテンツファイルの一例を示す図である。
- [図3]テーマフォーマットファイルの一例を示す図である。
- [図4]リムーバブルメディア挿入時の動作を示すフローチャートである。
- [図5]基本的なコンテンツ処理動作を示すフローチャートである。
- [図6]テーマフォーマットファイルに対するコンテンツ処理動作を示すフローチャートである。
- [図7]同一種類のファイルが複数ある場合の動作を示すフローチャートである。
- [図8]コンテンツ変更時間が設定された際の動作を示すフローチャートである。

## 符号の説明

- [0017]     10 携帯端末  
          11 壁紙表示設定／実行部  
          12 キャラクタ表示設定／実行部  
          13 待受けアプリ設定／実行部  
          14 メニューアイコン表示設定／実行部  
          15 着信音鳴動設定／実行部  
          16 表示部  
          17 着信音鳴動部  
          18 メディアアクセス部  
          19 ディレクトリファイル取得部  
          20 ディレクトリ名合致判定／各コンテンツ設定部  
          21 ディレクトリ名情報保持部  
         100 リムーバブルメディア

## 発明を実施するための最良の形態

- [0018]     図1は、本発明の一実施の形態を説明するための携帯端末の機能を示すブロック図であり、コンテンツ処理部分の機能を示す。なお、発呼、着呼、通話などの携帯端末の基本的な処理を行う部分については省略する。
- [0019]     携帯端末10は、メモリカード等のリムーバブルメディア（記録媒体）100の着脱が可能であり、さらにそのリムーバブルメディア100に記録された、「壁紙」、「キャラクタ」、「待受けアプリ」、「メニューアイコン」、「着信音」などの各種コンテンツのファイルを読み取って設定及び実行が可能となっている。そのための構成として、携帯端末10は、壁紙表示設定／実行部11、キャラクタ表示設定／実行部12、待受けアプリ設定／実行部13、メニューアイコン表示設定／実行部14、着信音鳴動設定／実行部15、表示部16、着信音鳴動部17、リムーバブルメディア100が携帯端末10本体に装着されたことを検出するメディアアクセス部18、装着されたリムーバブルメディア100に記録されているディレクトリ情報を取得するディレクトリファイル取得部19、ディレクトリ名合致判定／各コンテンツ設定部20、予め定めた特定のディレクトリ名の情報を保

持するディレクトリ名情報保持部21を備えている。ディレクトリ名合致判定／各コンテンツ設定部20は、ディレクトリファイル取得部19で取得されたディレクトリ情報に、予め定めた特定のディレクトリ名が含まれているか否かを判定し、ディレクトリファイル取得部19で取得されたディレクトリ情報にその特定のディレクトリ名が含まれている場合に、リムーバブルメディア100に記録されているその特定のディレクトリ名のディレクトリに含まれるコンテンツを実行可能な状態に設定するものである。

[0020] メディアアクセス部18は、リムーバブルメディア100の携帯端末10本体への着脱を検出し、装着を検出するとリムーバブルメディア100の記録データの読み込みを行う。本実施の形態の携帯端末10ではファイル管理を階層構造で行っているため、リムーバブルメディア100もそれに合わせて階層構造でファイルが記録される。

[0021] 図2は、各コンテンツファイルの一例を示す図であり、図3は、テーマフォーマットファイルの一例を示す図である。図2及び図3は、リムーバブルメディア100に記録されるコンテンツファイルの一例を示し、図2では、ディレクトリ名が¥RD\_THEMEのディレクトリに、拡張子「. wp」の壁紙ファイル、拡張子「. car」のキャラクタ設定ファイル、拡張子「. jav」の待受けファイル、拡張子「. men」のメニューアイコンファイル、拡張子「. mel」の着信音ファイル及び拡張子「. tim」のコンテンツ変更時間設定ファイルが含まれている。一方、図3では、ディレクトリ名が¥RD\_THEMEのディレクトリに拡張子「. thm」のテーマフォーマットファイル、拡張子「. tim」のコンテンツ変更時間設定ファイルが含まれている。

[0022] ここで、テーマフォーマットファイルとは、「壁紙」、「キャラクタ設定」、「待受けアプリ」、「メニューアイコン」、「着信音（着信時に再生されるメロディ、声、歌等）」などのコンテンツのファイル群を、予め仕様を決めたフォーマットによって結合して1つのファイルにしたものである。また、コンテンツ変更時間設定ファイルとは、予め定められたディレクトリ内にコンテンツファイルやテーマフォーマットファイルが複数ある場合に、それらのファイルのコンテンツを一定時間ごとに更新させる更新定義ファイルである。

[0023] 後述するディレクトリ名合致判定／各コンテンツ設定部20は、コンテンツ変更時間設定ファイルに従って、一定時間ごとに新たなファイルの各種コンテンツを、壁紙表示設定／実行部11、キャラクタ表示設定／実行部12、待受け設定／実行部13、メ

ニューアイコン表示設定／実行部14、着信音鳴動設定／実行部15に実行可能に設定させる。この場合、必ずしも全てのコンテンツについて変更されるのではなく、コンテンツファイルやテーマフォーマットファイルが1つしかない場合には更新されることはない。

[0024] 図1に戻り、ディレクトリファイル取得部19は、リムーバブルメディア100に記録されているディレクトリ名の情報を含むファイルを取得する。例えば上述した¥RD\_THEME等のディレクトリ名情報のファイルを取得する。ディレクトリ名合致判定／各コンテンツ設定部20は、ディレクトリ名情報保持部21に保持されたディレクトリ名に合致するディレクトリ名が、ディレクトリファイル取得部19で取得されたディレクトリ名にあるか否かを判定する。合致するディレクトリ名がある場合、ディレクトリ名合致判定／各コンテンツ設定部20は、ディレクトリファイル取得部19で取得された当該ディレクトリ内のファイル内容に基づいて、各コンテンツを実行可能に設定するよう各設定／実行部11～15に指示する。

[0025] この場合、図2に示す¥RD\_THEMEのディレクトリ名のディレクトリには、「壁紙ファイル」、「キャラクタ設定ファイル」、「待受けファイル」、「メニューアイコンファイル」、「着信音ファイル」があるので、「壁紙ファイル」を壁紙表示設定／実行部11に渡し、「キャラクタ設定ファイル」をキャラクタ表示設定／実行部12に渡し、「待受けファイル」を待受けアプリ設定／実行部13に渡し、「メニューアイコンファイル」をメニューアイコン表示設定／実行部14に渡し、「着信音ファイル」を着信音鳴動設定／実行部15に渡して、各設定／実行部11～15は、各コンテンツを実行可能に設定する。

[0026] また、ディレクトリ名が¥RD\_THEMEであるディレクトリに、テーマフォーマットファイルがある場合、テーマフォーマットファイルはディレクトリ名合致判定／各コンテンツ設定部20で予め仕様を決めたフォーマットに従って「壁紙ファイル」「キャラクタ設定ファイル」「待ち受けアプリファイル」「メニューアイコンファイル」「着信音ファイル」などに分解される。テーマフォーマットファイル内の各種コンテンツ、即ち「壁紙」、「キャラクタ設定」、「待受けアプリ」、「メニューアイコン」、「着信音」は、壁紙表示設定／実行部11、キャラクタ表示設定／実行部12、待受けアプリ設定／実行部13、メニューアイコン表示設定／実行部14、着信音鳴動設定／実行部15によってそれぞれ実行

可能に設定される。

[0027] 壁紙表示設定／実行部11、キャラクタ表示設定／実行部12、待受けアプリ設定／実行部13、メニューアイコン表示設定／実行部14、着信音鳴動設定／実行部15、表示部16及び着信音鳴動部17は、従来の携帯端末でも装備しているものであり、壁紙の表示、キャラクタの表示、待受けアプリによる動画の表示、メニューアイコンの表示、着信メロディの鳴動を行う。

[0028] 図4はリムーバブルメディア挿入時の動作を示すフローチャート、図5は基本的なコンテンツ処理動作を示すフローチャート、図6はテーマフォーマットファイルに対するコンテンツ処理動作を示すフローチャート、図7は同一種類のファイルが複数ある場合の動作を示すフローチャート、図8はコンテンツ変更時間が設定された際の動作を示すフローチャートである。

[0029] [リムーバブルメディア挿入時]

図4において、まずリムーバブルメディア100の装着の有無を判定し、装着されるまでこの処理を繰り返す(ステップS10)。リムーバブルメディア100が装着された場合は、そのリムーバブルメディア100の記録データの読み込みを行い、¥RD\_THEMEのディレクトリ名のディレクトリが存在するかどうか判定する(ステップS11)。この判定において、¥RD\_THEMEのディレクトリ名のディレクトリが存在しない場合はステップS10の処理に戻る。これに対して¥RD\_THEMEのディレクトリが存在する場合は、そのディレクトリに含まれるコンテンツファイルの読み込みを行う(ステップS12)。以上の処理は、メディアアクセス部18とディレクトリファイル取得部19とで行われる。

[0030] [基本処理]

図5において、まず先の処理で読み取ったファイル内の特定のディレクトリ名のディレクトリに「.tim」の拡張子を持つコンテンツ変更時間設定ファイルが存在するか否かを判定する(ステップS13)。この判定において、「.tim」の拡張子を持つコンテンツ変更(更新)時間設定ファイルが存在する場合、そのファイルで指定される時間即ち自動変更時間間隔を設定する(ステップS14)。「.tim」の拡張子を持つコンテンツ変更時間設定ファイルが存在しない場合又は当該ファイルが存在するとしてデフォルトの自動変更時間間隔を設定した後、「.wp」の拡張子を持つ壁紙ファイルがある

か否か判定する(ステップS15)。なお、デフォルトの自動変更時間間隔はユーザーが予め設定できるようになっていてもよい。

- [0031] 「. wp」の拡張子を持つ壁紙ファイルがある場合、そのファイルを実行可能に設定するよう壁紙表示設定／実行部11に指示する(ステップS16)。「. wp」の拡張子を持つ壁紙ファイルがない場合は次のステップに進む。次のステップ(ステップS17)では、同ファイルのなかに「. car」の拡張子を持つキャラクタ設定ファイルがあるか否か判定する。この判定において、「. car」の拡張子を持つキャラクタ設定ファイルがある場合、そのファイルを実行可能に設定するようキャラクタ表示設定／実行部12に指示する(ステップS18)。これに対して、「. car」の拡張子を持つキャラクタ設定ファイルがない場合は次のステップに進む。次のステップ以降は、上述した壁紙設定及びキャラクタ設定の処理と同様の処理が、待受けアプリ設定、メニューアイコン設定、着信音設定の順で行われる。以上の処理は、ディレクトリ名合致判定／各コンテンツ設定部20で行われる。

- [0032] [テーマフォーマットファイルに対するコンテンツ処理]

図6において、まず先の処理で読み取ったファイル内の特定ディレクトリ名のディレクトリに「. thm」の拡張子を持つテーマフォーマットファイルが存在するか否かを判定する(ステップS30)。この判定において、「. thm」の拡張子を持つテーマフォーマットファイルが存在する場合、そのテーマフォーマットファイルの内容を解析する(ステップS31)。

- [0033] テーマフォーマットファイルの内容解析結果より、テーマフォーマットファイルのなかに「. wp」の拡張子を持つ壁紙ファイルがあるか否か判定する(ステップS32)。この判定において、「. wp」の拡張子を持つ壁紙ファイルがある場合、そのファイルを実行可能に設定するよう壁紙表示設定／実行部11に指示する(ステップS33)。これに対して、「. wp」の拡張子を持つ壁紙ファイルがない場合は次のステップに進む。

- [0034] 次のステップ(ステップS34)では、同ファイルのなかに「. car」の拡張子を持つキャラクタ設定ファイルがあるか否か判定する。「. car」の拡張子を持つキャラクタ設定ファイルがある場合、そのファイルを実行可能に設定するようキャラクタ表示設定／実行部12に指示する(ステップS35)。「. car」の拡張子を持つキャラクタ設定ファイル



がない場合は次のステップに進む。次のステップ以降は、上述した壁紙設定及びキャラクター設定と同様の処理が、待受けアプリ設定、メニューアイコン設定、着信音設定の順で行われる。以上の処理は、ディレクトリ名合致判定／各コンテンツ設定部20で行われる。

[0035] 〔同一種類のコンテンツファイルが複数ある場合の処理〕

図7において、ステップS12の処理で読み取られたディレクトリ名が¥RD\_THEMEのディレクトリ内に「.wp」の拡張子を持つ壁紙ファイルが存在するか否か判定する(ステップS50)。この判定において、「.wp」の拡張子を持つ壁紙ファイルが存在する場合、その壁紙ファイルが複数存在するかどうか判定する(ステップST51)。壁紙ファイルが複数存在する場合は、所定の方針で壁紙ファイルの順番を決定する(ステップS52)。例えばファイル名昇順で順番を決定する。

[0036] そして、決定した順番の1番目の壁紙を選択し(ステップS53)、次いでそのファイルを壁紙表示設定／実行部11に設定する(ステップS54)。この処理を終えた後、又は「.wp」の拡張子を持つ壁紙ファイルが存在しない場合は、次のステップに進む。次のステップ以降は、上述した壁紙設定と同様の処理が、キャラクター設定、待受けアプリ設定、メニューアイコン設定、着信音設定の順で行われる。以上の処理は、ディレクトリ名合致判定／各コンテンツ設定部20で行われる。

[0037] 〔自動更新処理〕

図8において、基本処理のステップS13～S14で自動変更時間間隔が設定された場合、まず更新時間になったかどうか判定する(ステップS70)。この判定において、更新時間になっていなければこの処理を繰り返し、更新時間になった場合は、次のステップ(ステップS71)に進み、「.wp」の拡張子を持つ壁紙ファイルがあるか否か判定する(ステップS72)。「.wp」の拡張子を持つ壁紙ファイルがある場合は次(N+1番目)の壁紙ファイルを選択し、次の壁紙ファイルが無い場合は1番目の壁紙ファイルを選択する(ステップS73)。そして、選択した壁紙ファイルを実行可能に設定するよう壁紙表示設定／実行部11に指示する(ステップS74)。

[0038] 新たな壁紙を設定する処理を行った場合又は「.wp」の拡張子を持つ壁紙ファイルがない場合は次のステップに進む。次のステップ以降は、上述した壁紙自動変更処

理と同様の処理が、キャラクタ設定、待受けアプリ設定、メニューアイコン設定、着信音設定の順で行われる。以上の処理は、ディレクトリ名合致判定／各コンテンツ設定部20で行われる。

- [0039] このように、携帯端末10によれば、リムーバブルメディア100の装着を検出して、記録されているディレクトリ情報を取得し、予め定めた特定のディレクトリ名が含まれているか否か判定する。特定のディレクトリ名が含まれる場合は、そのディレクトリに含まれるコンテンツファイルの読み込みを行う。そして、コンテンツファイルの拡張子に基づいて、壁紙表示設定／実行部11、キャラクタ表示設定／実行部12、待受けアプリ設定／実行部13、メニューアイコン表示設定／実行部14、着信音鳴動設定／実行部15のそれぞれが各コンテンツファイルを実行可能に設定する。
- [0040] したがって、壁紙、キャラクタ、待受けアプリ、メニューアイコン、着信音などのコンテンツが記録されたリムーバブルメディア100を携帯端末10に装着するだけで、自動的に各コンテンツを実行可能に設定するので、ユーザが携帯端末10自体の操作を行うことなく、容易にコンテンツを変更することができる。
- [0041] また、特定ディレクトリ名のディレクトリに同一種類のコンテンツが複数含まれている場合には、それらを所定の順序で1つずつ実行可能な状態に設定することにより、例えば複数の着信メロディが含まれている場合、それらを所定の順序で再生することができる。
- [0042] また、特定ディレクトリ名のディレクトリにコンテンツの変更時間を定めたコンテンツ変更時間設定ファイルが存在する場合には、そのファイルに定められた変更時間間隔に従って実行されるコンテンツが変更される。コンテンツ変更時間設定ファイルに、特定コンテンツへの変更時間を記述するようにし、変更時間になったとき、特定ディレクトリ名のディレクトリに含まれるコンテンツを実行可能な状態に設定するようにしてもよい。これにより、例えば、12時00分にコンテンツを変更することを示すコンテンツ変更時間設定ファイルが存在すると、その時間にコンテンツの設定変更が行われる。
- [0043] また、コンテンツを設定するタイミングとして、例えば着信回数を計数して、その回数が所定回数に達した時点で更新することも可能である。この場合、着信回数を計数する着信回数計数手段が必要となるが、着呼したときに得られる信号を計数すること

で容易に実現可能である。その他、様々なイベントをコンテンツ変更タイミングとして使用可能である。

[0044] なお、上記実施の形態では、特定ディレクトリ名のディレクトリに同一種類のコンテンツが複数含まれる場合、所定の方針で再生する順番を決定するようにしたが、その順番をユーザが任意に決定できるようにしても良いし、所望のものを好きなだけ選択するようにしても良い。また更に、2つ以上選択した場合に再生する順番をユーザが勝手に決定できるようにしても良い。この場合、自由に選択できるようにするには、そのための手段が必要となるが、例えば同一種類のコンテンツを表示部16に表示させる機能を有する表示制御部(図示略)と、表示された同一種類のコンテンツのうちでユーザが所望のものを指定できる入力部(図示略)を設けることで実現可能である。これにより、例えば着信メロディが複数ある場合、ユーザがそのなかで好むものを自由に選択でき、また好きな順番で着信メロディの設定を変更することができる。

[0045] 本発明を詳細にまた特定の実施態様を参照して説明したが、本発明の精神と範囲を逸脱することなく様々な変更や修正を加えることができることは当業者にとって明らかである。

本出願は、2004年1月15日出願の日本特許出願(特願2004-007972)に基づくものであり、その内容はここに参照として取り込まれる。

#### 産業上の利用可能性

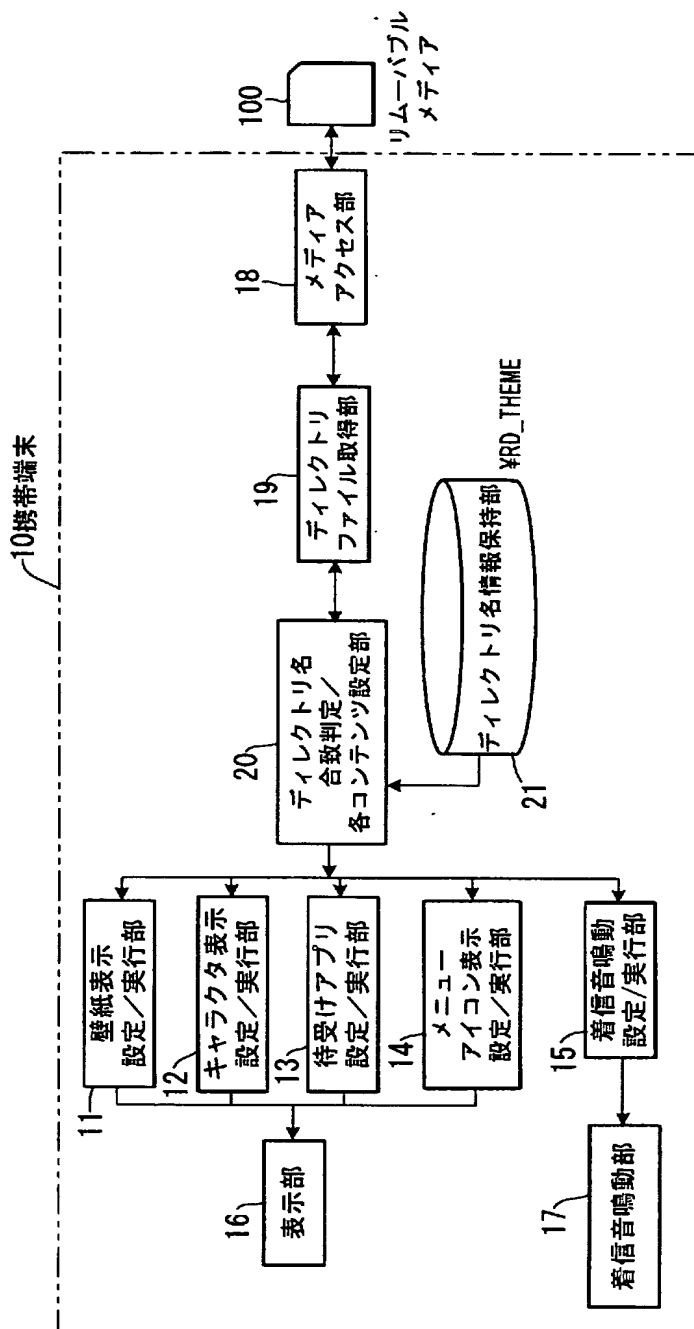
[0046] 本発明の携帯端末は、容易にコンテンツを実行可能に設定できる効果を有し、コンテンツの実行が可能な携帯端末等に有用である。

### 請求の範囲

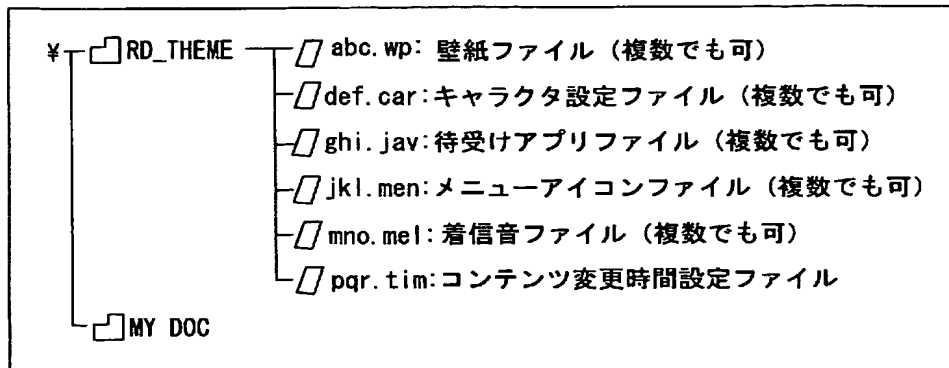
- [1] 記録媒体の着脱が可能であり、コンテンツを実行可能な携帯端末であって、  
装着された記録媒体に記録されているディレクトリ情報を取得するディレクトリ情報  
取得手段と、  
前記取得したディレクトリ情報に、予め定めた特定のディレクトリ名が含まれているか  
否かを判定するディレクトリ判定手段と、  
前記取得したディレクトリ情報に前記特定のディレクトリ名が含まれている場合に、  
前記記録媒体に記録されている前記特定のディレクトリ名のディレクトリに含まれるコ  
ンテンツを実行可能な状態に設定するコンテンツ設定手段と、を備える携帯端末。
- [2] 請求項1に記載の携帯端末であって、  
前記記録媒体が装着されたことを検出する検出手段を備え、  
前記ディレクトリ判定手段は、前記検出手段が装着したことを検出したとき、前記取  
得したディレクトリ情報に前記特定のディレクトリ名が含まれているか否かを判定する  
携帯端末。
- [3] 請求項1又は2に記載の携帯端末であって、  
前記コンテンツ設定手段は、前記記録媒体の前記特定のディレクトリ名のディレクト  
リに同一種類のコンテンツが複数含まれる場合、前記複数のコンテンツを所定の順  
序で1つずつ実行可能な状態に設定する携帯端末。
- [4] 請求項1又は2に記載の携帯端末であって、  
コンテンツを選択する選択手段を備え、  
前記コンテンツ設定手段は、前記記録媒体の前記特定のディレクトリ名のディレクト  
リに同一種類のコンテンツが複数含まれる場合、前記選択したコンテンツを実行可能  
な状態に設定する携帯端末。
- [5] 請求項1ないし4のいずれか一項記載の携帯端末であって、  
前記コンテンツ設定手段は、前記記録媒体の前記特定のディレクトリ名のディレクト  
リに、予めコンテンツの変更時間を定めた変更時間設定ファイルが存在する場合、前  
記変更時間設定ファイルに定められた変更時間に、このディレクトリに含まれるコンテ  
ンツを実行可能な状態に設定する携帯端末。

- [6] 請求項1ないし4のいずれか一項記載の携帯端末であって、  
着信回数を計数する着信回数計数手段を備え、  
前記コンテンツ設定手段は、前記記録媒体の前記特定のディレクトリ名のディレクトリに、所定回数着信したときコンテンツを変更することを予め定めた変更時間設定ファイルが存在する場合、前記所定回数着信したときに、このディレクトリに含まれるコンテンツを実行可能な状態に設定する携帯端末。

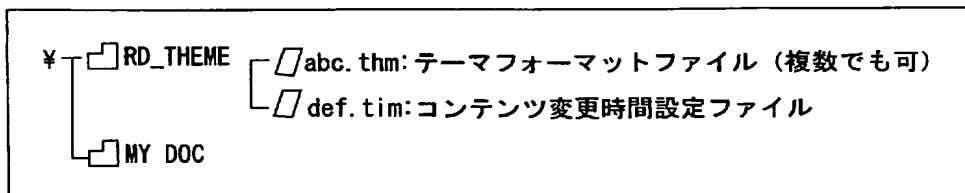
[図1]



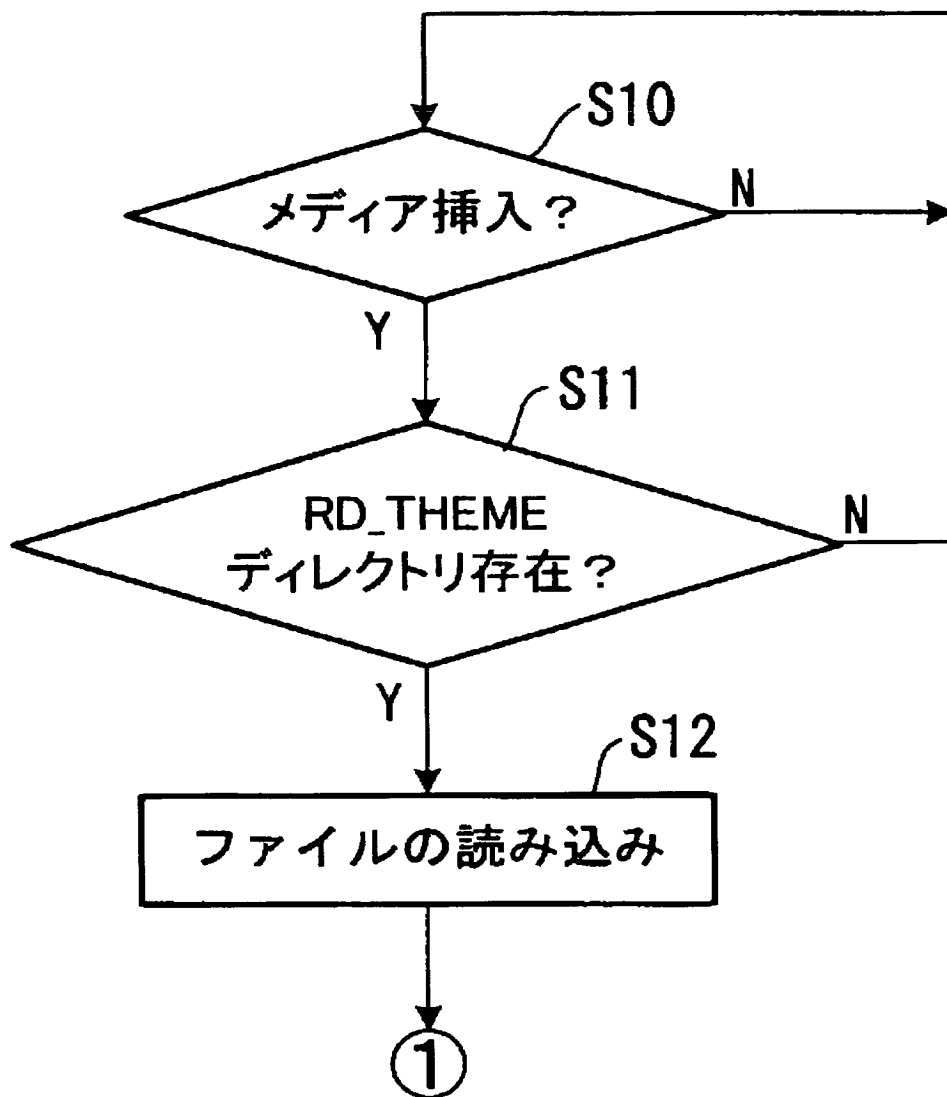
[図2]



[図3]

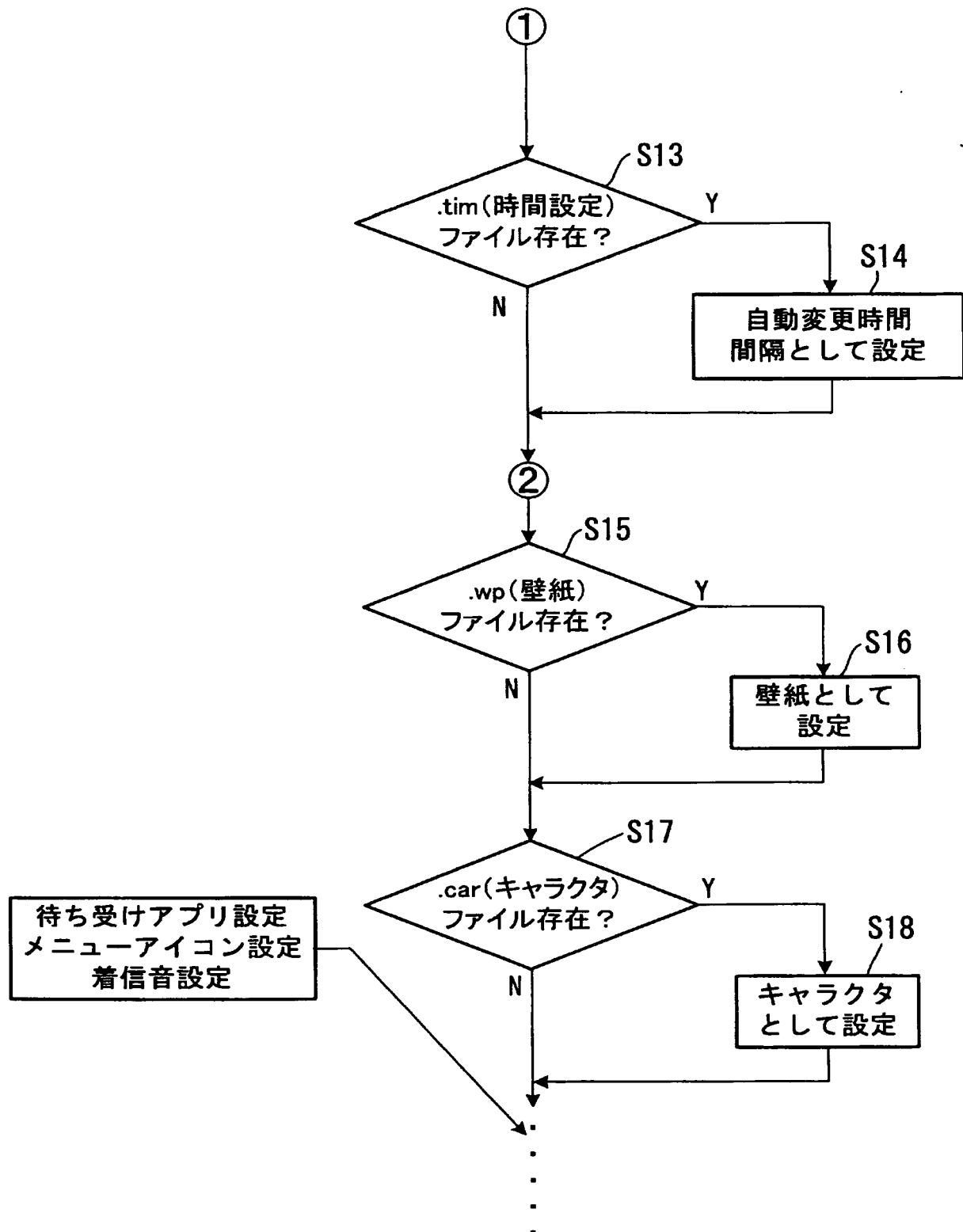


[図4]

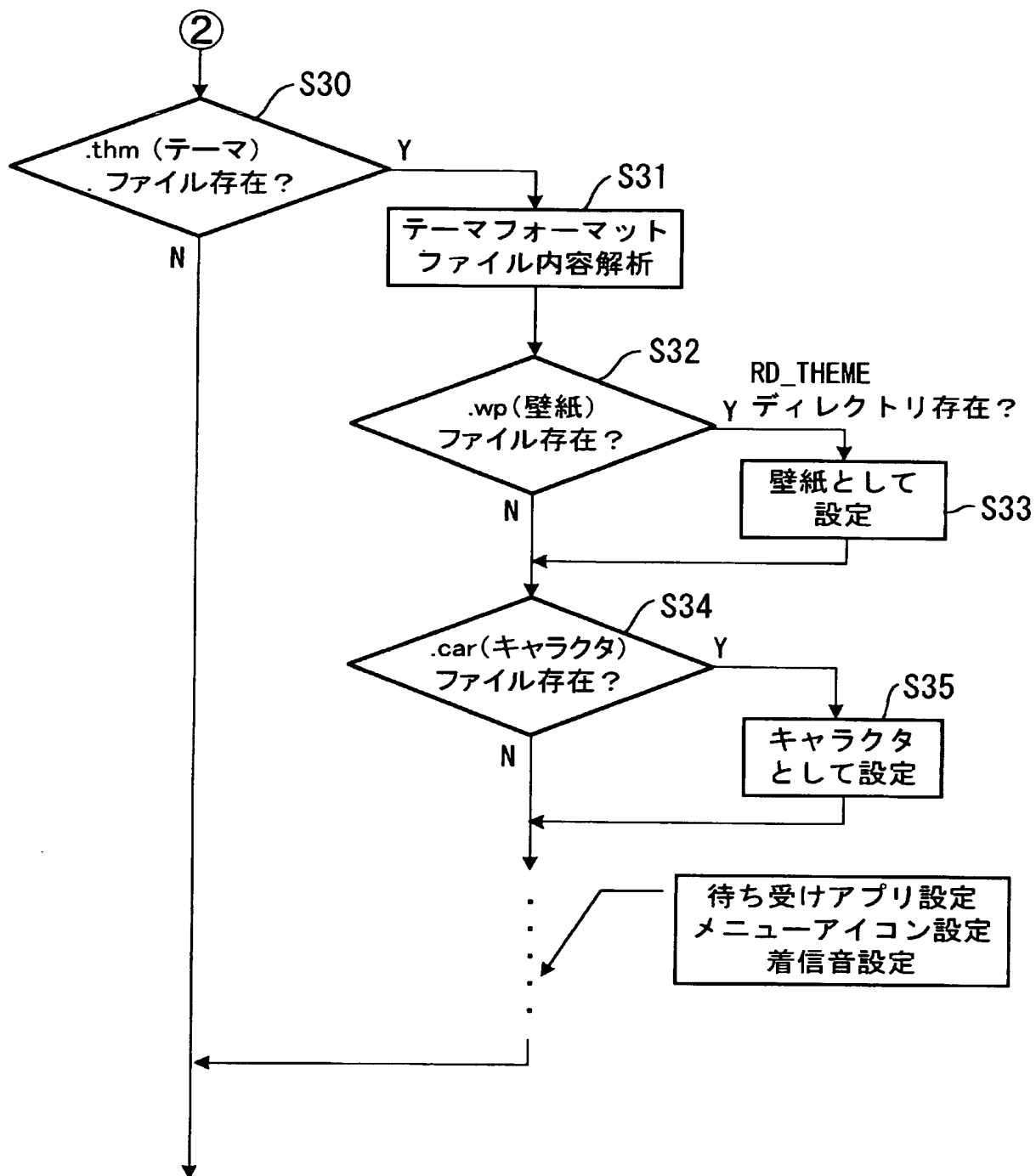




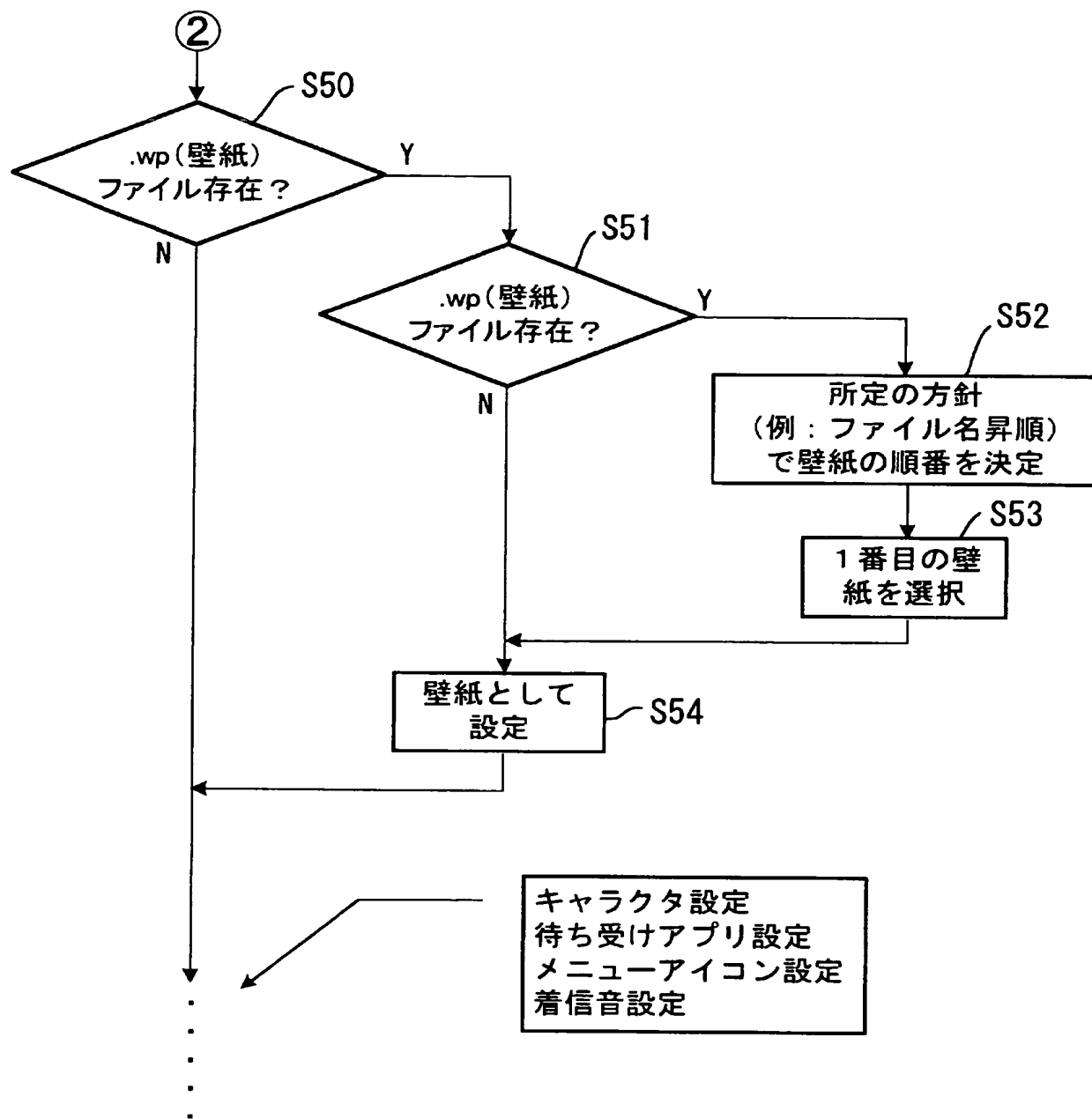
[図5]



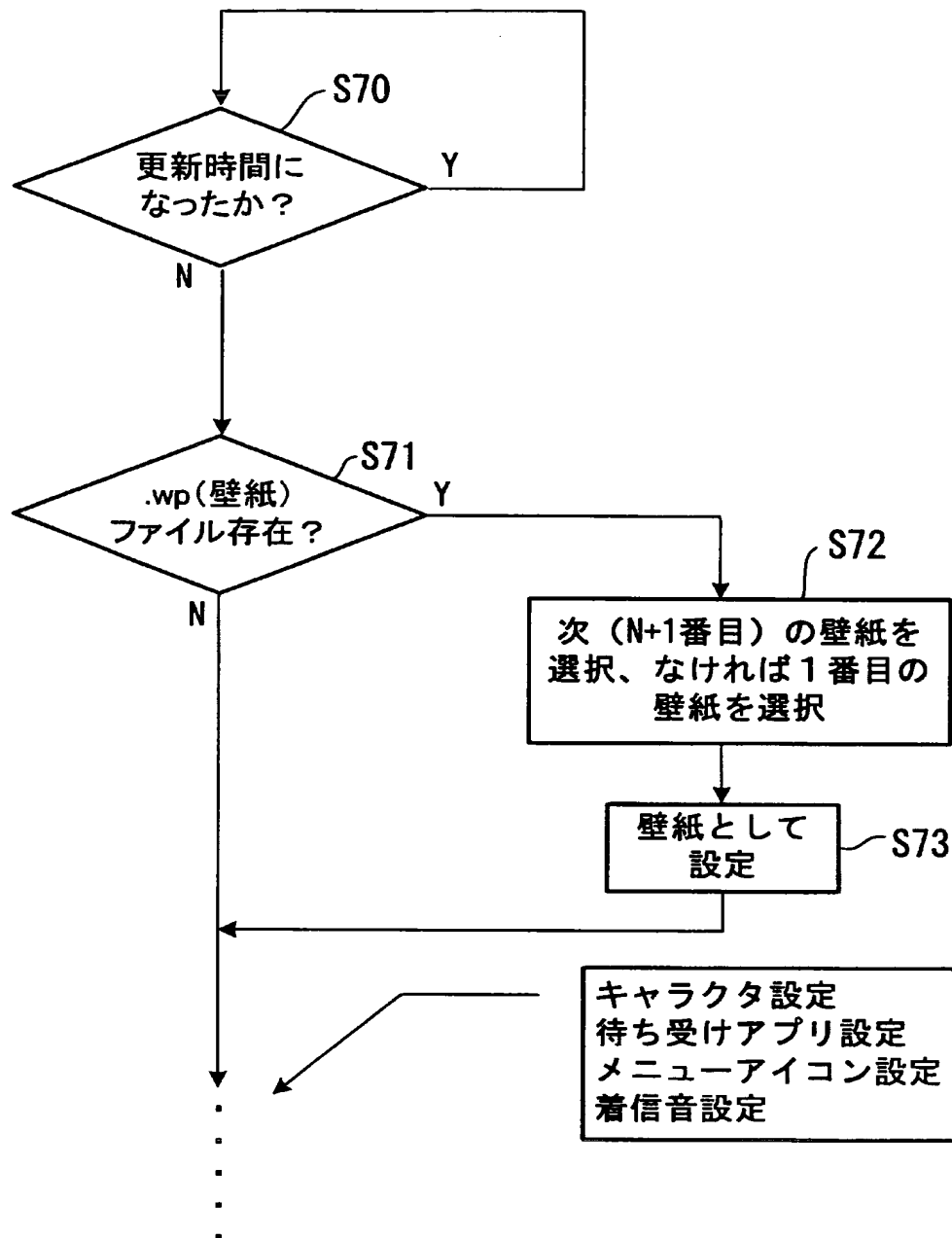
[図6]



[図7]



[図8]



# INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2005/000364

## A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl.<sup>7</sup> H04M1/247, H04B7/26, H04M1/00

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

## B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl.<sup>7</sup> H04M1/247, H04B7/26, H04M1/00, G06K17/00, G06F12/00,  
H04Q7/38

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2005
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2005	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2005

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

## C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	WO 2003/042915 A1 (Sharp Corp.),	1-2, 4
Y	22 May, 2003 (22.05.03), Page 37, line 1 to page 42, line 7; Fig. 7 & EP 1457921 A1	3, 5-6
Y	JP 2002-073051 A (Sanyo Electric Co., Ltd.), 12 March, 2002 (12.03.02), Par. Nos. [0091] to [0102]; Figs. 7 to 10 (Family: none)	3
Y	JP 2003-324770 A (Hitachi, Ltd.), 14 November, 2003 (14.11.03), Par. No. [0012] & US 2003/236893 A1 & CN 1456988 A & KR 3087550 A	5

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

\* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search  
08 April, 2005 (08.04.05)

Date of mailing of the international search report  
26 April, 2005 (26.04.05)

Name and mailing address of the ISA/  
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2005/000364

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2001-086228 A (Hitachi Kokusai Electric Inc.), 30 March, 2001 (30.03.01), Par. Nos. [0014] to [0016]; Fig. 1 & EP 1083764 A2 & US 6771954 B1 & KR 1050386 A	6
A	JP 2002-368871 A (Toshiba Corp.), 20 December, 2002 (20.12.02), Par. Nos. [0027] to [0035], [0052]; Fig. 3 (Family: none)	1-6
A	JP 2002-297424 A (Sharp Corp.), 11 October, 2002 (11.10.02), Full text; all drawings (Family: none)	1-6
A	JP 2002-342141 A (Ricoh Co., Ltd.), 29 November, 2002 (29.11.02), Full text; all drawings (Family: none)	1-6

## A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl.<sup>7</sup> H04M1/247, H04B7/26, H04M1/00

## B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl.<sup>7</sup> H04M1/247, H04B7/26, H04M1/00, G06K17/00, G06F12/00, H04Q7/38

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2005年
日本国実用新案登録公報	1996-2005年
日本国登録実用新案公報	1994-2005年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

## C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X Y	WO 2003/042915 A1 (シャープ株式会社) 2003.05.22, 第37頁第1行-第42頁第7行, 第7図 & EP 1457921 A1	1-2, 4 3, 5-6
Y	JP 2002-073051 A (三洋電機株式会社) 2002.03.12, 第【0091】-【0102】段落, 第7-10図 (ファミリーなし)	3

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

## \* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの  
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの  
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)  
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献  
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの  
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの  
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの  
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

08.04.2005

国際調査報告の発送日

26.4.2005

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

松元 伸次

5G

3358

電話番号 03-3581-1101 内線 3526

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	JP 2003-324770 A (株式会社日立製作所) 2003. 11. 14, 第【0012】段落 & US 2003/236893 A1 & CN 1456988 A & KR 3087550 A	5
Y	JP 2001-086228 A (株式会社日立国際電気) 2001. 03. 30, 第【0014】 - 【0016】段落, 第1図 & EP 1083764 A2 & US 6771954 B1 & KR 1050386 A	6
A	JP 2002-368871 A (株式会社東芝) 2002. 12. 20, 第【0027】 - 【0035】, 【0052】段落, 第3図 (ファミリーなし)	1-6
A	JP 2002-297424 A (シャープ株式会社) 2002. 10. 11, 全文, 全図 (ファミリーなし)	1-6
A	JP 2002-342141 A (株式会社リコー) 2002. 11. 29, 全文, 全図 (ファミリーなし)	1-6